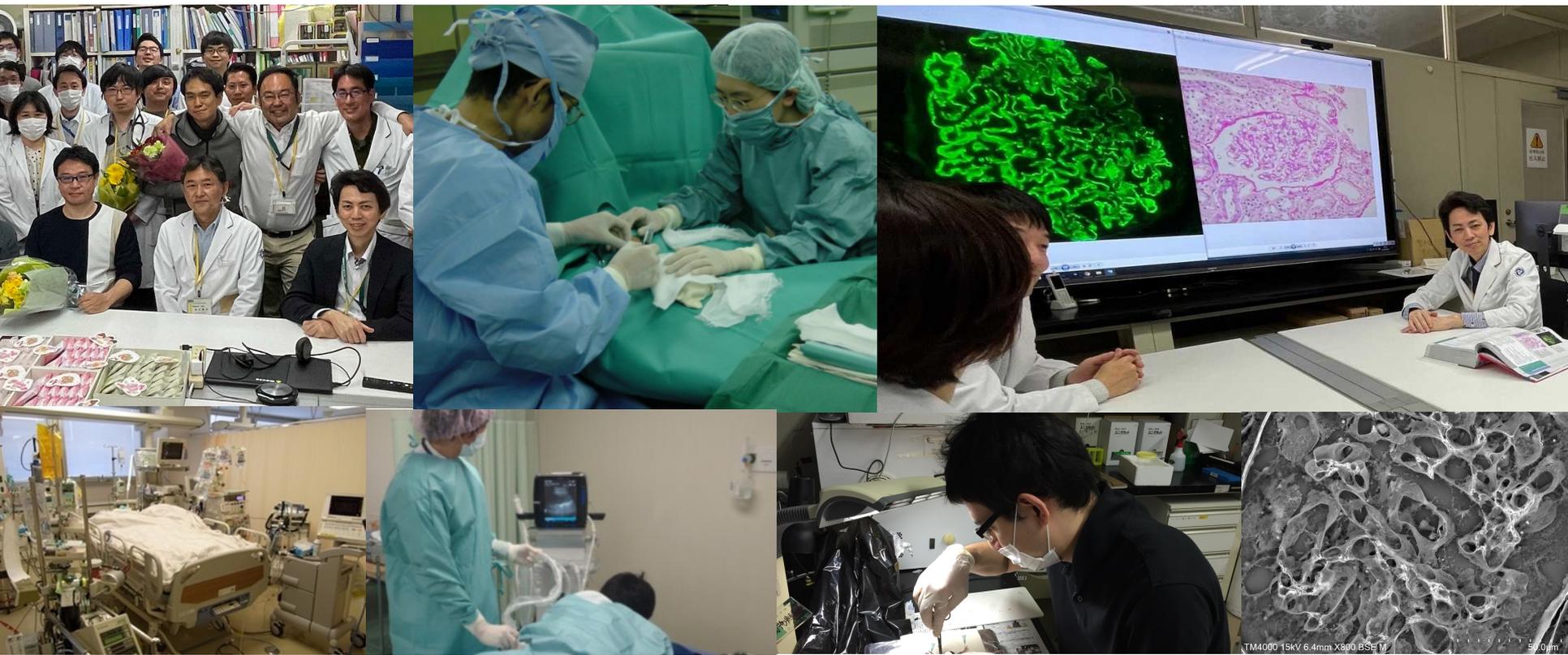


腎臓内科学講座



令和5年5月9日

名古屋大学大学院医学系研究科
病態内科学講座入局説明会

入局者数の推移：年別

入局年	総数	男性	女性	名大	他大学卒
H30年	22	17	5	11	11
R1年	15	13	2	6	9
R2年	10	7	3	2	8
R3年	19	11	8	4	15
R4年	13	6	7	3	10

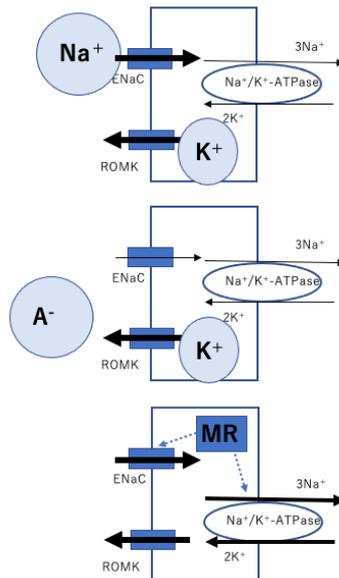
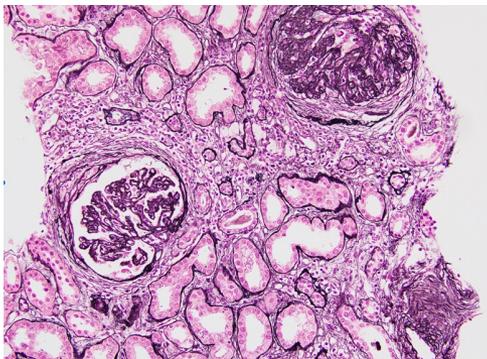
女子：男子 = 約 1：2 名大：他大 = 約 1：2

まず 腎臓内科の魅力は？

腎臓分野の面白さは、基礎医学で学んだ**生理学**、**生化学**の知識が臨床現場でダイレクトに患者さんの**病態把握**に役立ち、

また診断や治療が**病理学**、**免疫学**ともつながっているので、学びの機会が多く、
どんどん自分の進歩が実感出来るところではないかと思っています

カバーする分野が多彩で、**自分の得意分野**に誇りを持って
取り組めるところも魅力だと思います。



腎臓を切り口に全身を
診る事ができるように心がけたいですね



腎臓内科医像は？

皆さんは腎臓内科医というと、どの様なイメージを持つでしょうか。

腎炎、腎病理診断、水・電解質、酸塩基平衡、自己免疫疾患、膠原病
血液透析、腹膜透析、腎移植、血液浄化（血漿交換、免疫吸着）
腎生検、内シャント作成
急性腎障害、慢性腎臓病
腎臓生理、生化学、免疫学、病理学



色々なタイプのドクターがいて、それぞれがそれぞれの得意分野で輝ける！

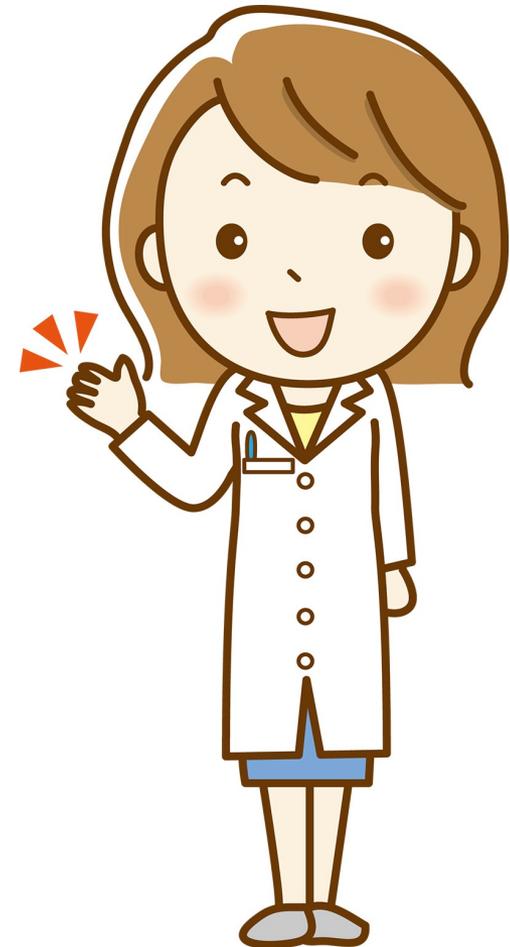
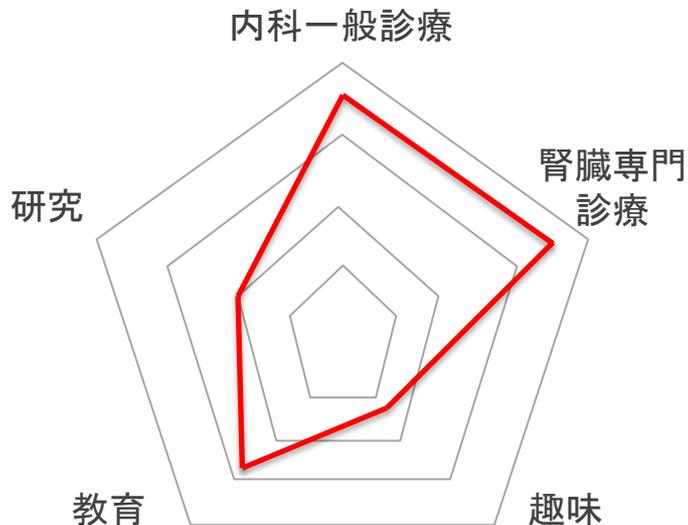
腎臓内科医像は？ ケース1

卒業 8年目；市中病院勤務

腎臓に偏らず、ジェネラリストを目指している
フットワークがよく、外科系の先生から術後合併症の
相談をよく受ける。
また、世話焼きな性格から研修医の支持も厚い。

得意領域；電解質異常

趣味；旅行(食べ歩き)、映画鑑賞

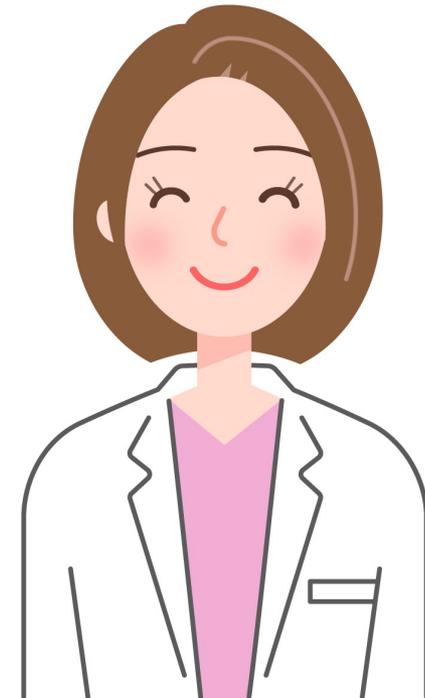
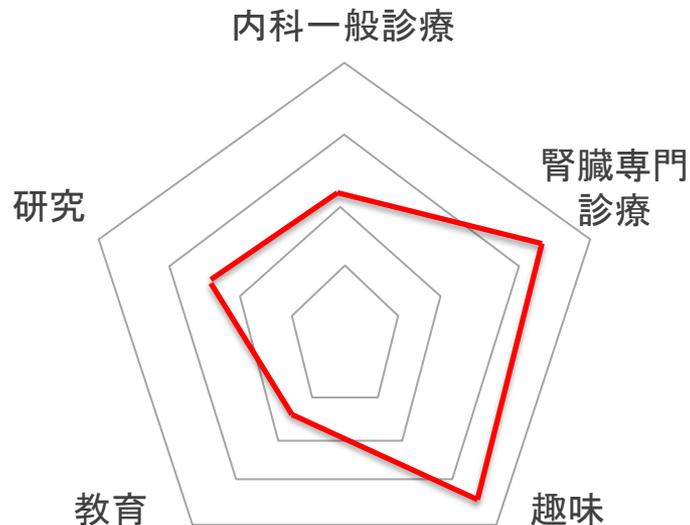


腎臓内科医像は？ ケース2

卒業 15年目；大学病院勤務

大学の後期研修で腎病理診断に触れたことから興味を持ち、国内留学で病理学を学んできた。現在は育児に追われる毎日だが、週一回の腎病理カンファレンスではご意見番の立場。最近、臨床研究に興味を持ち始めている。

得意領域；腎病理診断
趣味；子供と遊ぶこと



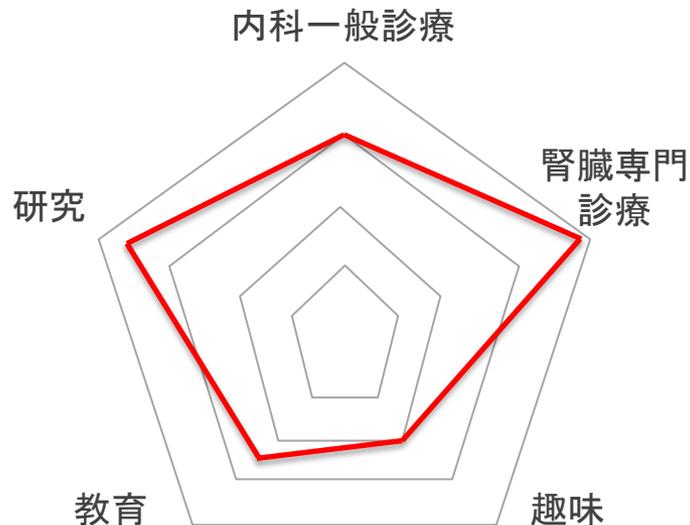
腎臓内科医像は？ ケース3

卒業 20年目；大学病院勤務

大学院時代に基礎講座で研究をしたことから3年間海外のラボで再生医療について学ぶ。帰国後は、臨床医ならではの視点を持ちつつ新規治療法開発にチャレンジしたいと考えている。性格は控えめで、押しに弱い。

得意領域；分子生物学

趣味；料理

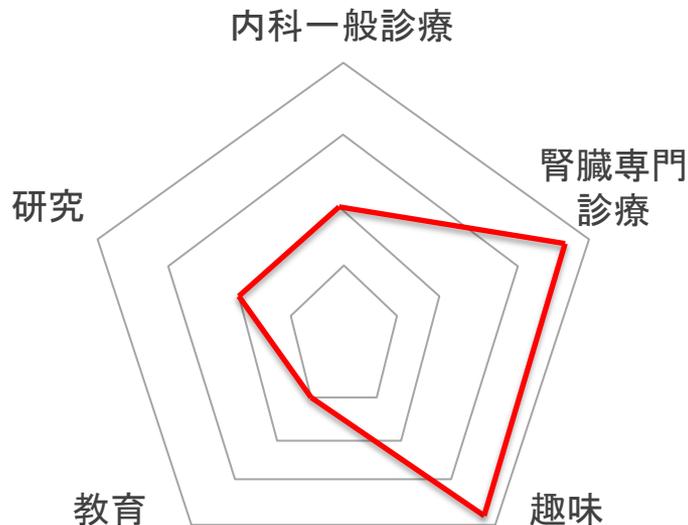


腎臓内科医像は？ ケース4

卒業 10年目；クリニック勤務

学生時代はテニス部で、部活動に明け暮れていた。
最近ではテニスはやめて、ゴルフにハマっている。
趣味は大切にしたいが、仕事においても専門性を
持ちたいと思い、透析診療に力を入れる。
シャント作成は医局で一番上手。

得意領域；血液浄化
趣味；ゴルフ、投資



名古屋腎臓内科専門医養成プログラムNNFP

Nagoya Nephrology Fellowship Program

- ・名古屋大学腎臓内科と関連病院で共通の専門医養成プログラム
- ・3年間で腎臓内科専門医を養成するための統一したプログラム
- ・プログラム内容
 - 水・電解質、酸塩基平衡から、AKI, 腎代替療法、腎病理など。
 - 学外より講師を招くとともに、**卒後6年目の先生がチューター**となり身近な問題点を解決。
- ・プログラム参加者し全課程を研修した先生に修了証を発行。

20年以上続く腎臓専門医育成プログラムで、夏の会で**第43回**をむかえました。

教育のノウハウがたくさんあります！

NNFPでの一幕



クイズ大会の後



チューターの表彰



いつも教えてくださる三木先生



チューターは6年目



夕食中も講義！



???

NNFP: ホームページでチェック

名古屋大学 腎臓内科 HP

NAGOYA UNIVERSITY HOSPITAL
DEPARTMENT OF NEPHROLOGY
名古屋大学大学院医学系研究科
病態内科学講座腎臓内科

HOME お問い合わせ

患者さんへ | 臨床研修のご案内 | ご紹介・専門外来 | 医局案内 | **NNFP** | 研究について



名古屋大学腎臓内科は [後期研修医募集中です!](#)

『糖尿病性腎症』
に対する
先進医療のご案内

LDLアフェレーシス療法
について等

[詳しくみる >](#)

脂肪由来幹細胞
を用いた
再生医療

MSC細胞とiPS細胞
の違い等

[詳しくみる >](#)

非典型溶血性尿毒症
症候群 (aHUS)
疾患事務局

疾患相談や、
補体検査の受付

[詳しくみる >](#)

大学における臨床

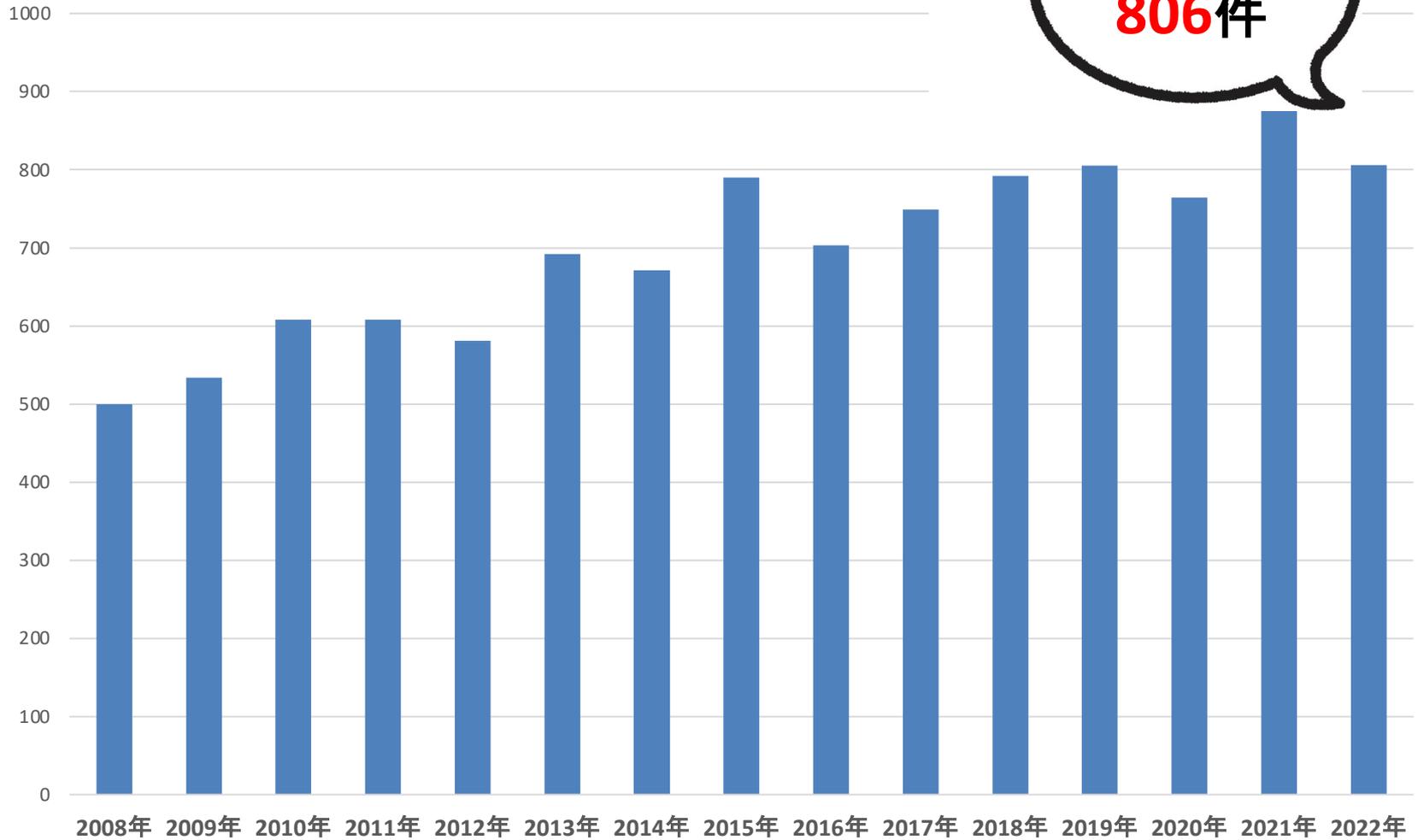
- 腎炎、膠原病、腎不全を中心とした診療
- 腎代替療法（血液透析、腹膜透析）
- 腎移植（泌尿器科と協力）
- **腎生検の病理診断（年間800例以上）**
- 腹膜透析・多発性嚢胞腎・膠原病の専門外来開設
- 希少疾患（aHUS）の疾患事務局運営(厚労省難病研究)
- 幹細胞治療の治験
- 膜性腎症に対する医師主導治験



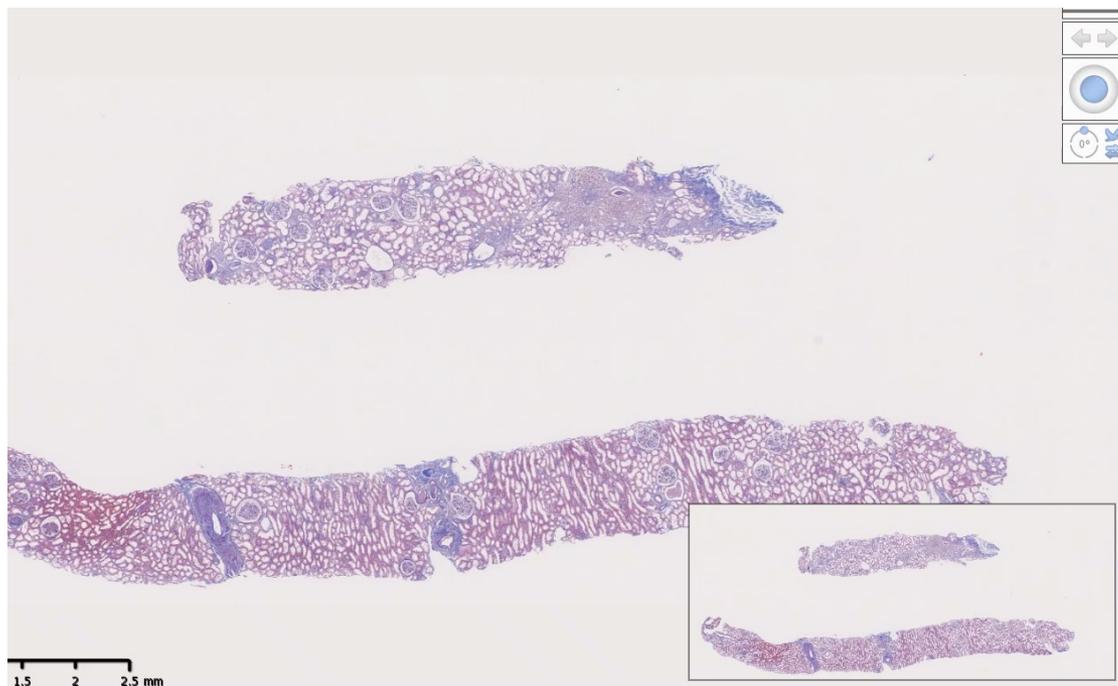
2022年 腎生検実施件数

自称; 日ノ本一の症例数

2022年
806件

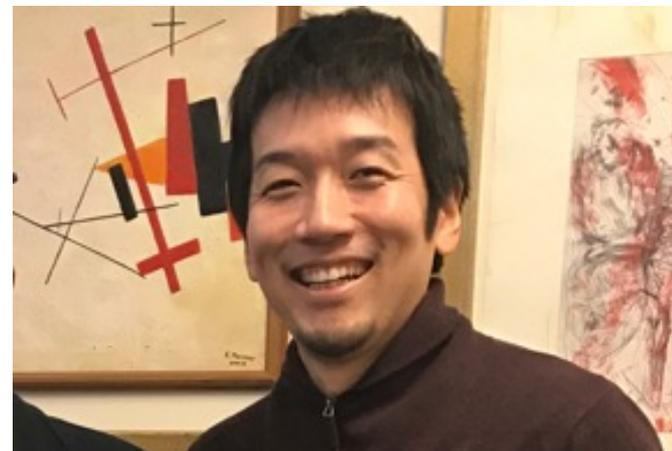


バーチャルスライドシステムの導入



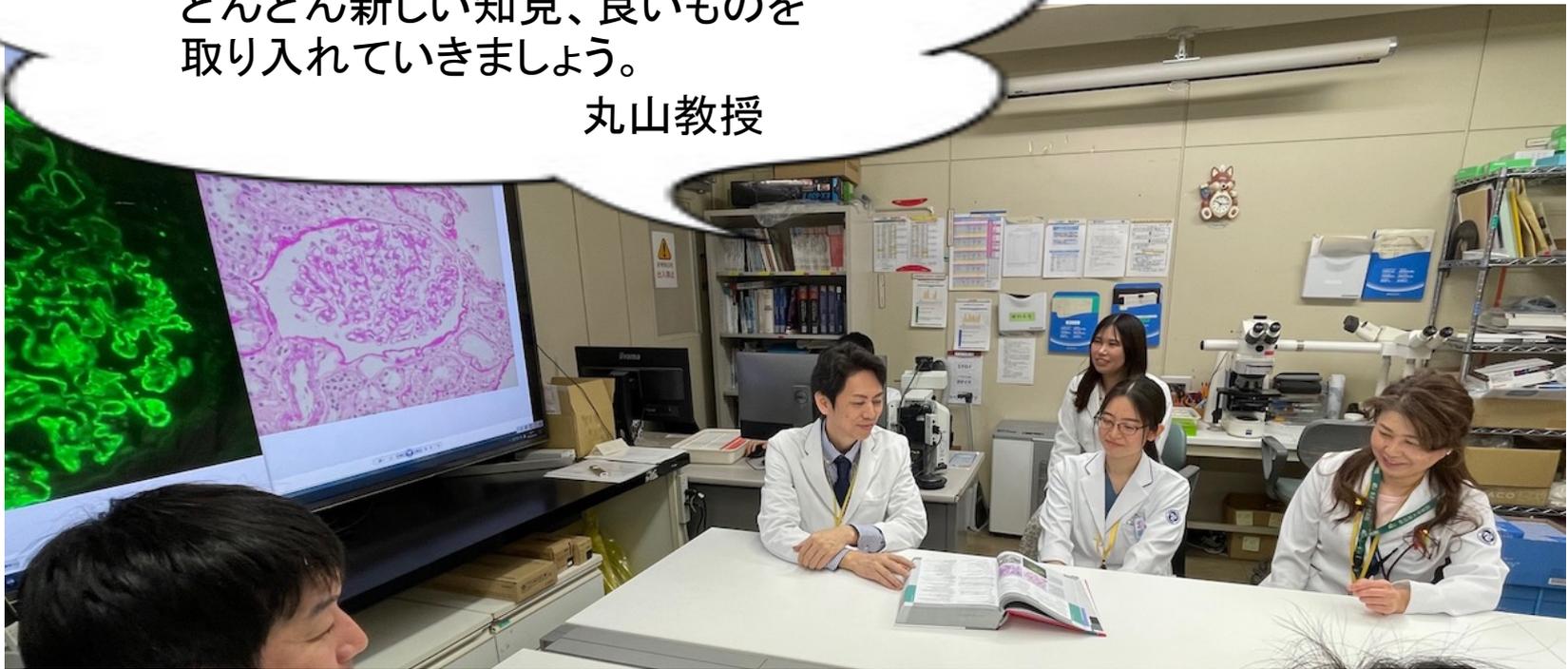
2023年より、バーチャルスライドシステムの導入を行いました。

みんなで病理所見を議論して、診断、治療の
Discussionをするのは楽しいです



今までの経験を大切にしつつ、
どんどん新しい知見、良いものを
取り入れていきましょう。

丸山教授



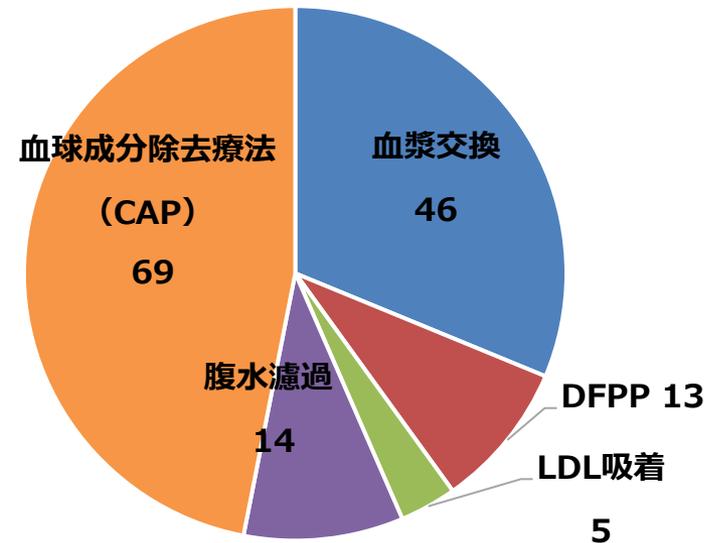
2023/3 腎病理カンファレンスの風景

血液浄化部

多彩な血液浄化を学べます



HD以外の血液浄化（件数）



Do you like fat?

Adipose derived mesenchymal Stem Cell 脂肪由来間葉系幹細胞



新規治療を開発しませんか？

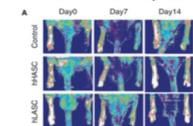
MSCの治療特性

MSCの治療特性

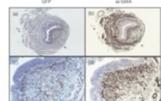
1. 疾患の炎症が強ければ強いほど、MSC強い免疫抑制作用を示す。
2. 全身の免疫抑制作用は少なく、炎症局所でのみ作用する。



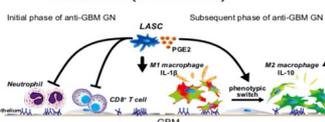
ASO Iwashima (Stem cell Dev 2009) • **Urinary incontinence** Watanabe (Urology 2011) • **Xeno transplantation** Saka (Xenotransplantation 2011)



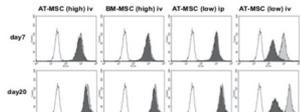
Patent
PCT/JP2007/065431



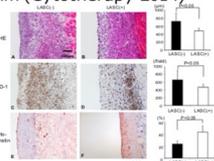
Anti-GBM nephritis Furuhashi (JASN 2013)



Patent PCT/JP2010/064682

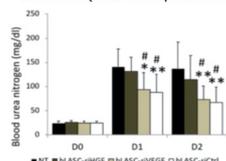


Peritonitis-EPS model Kim (Cytotherapy 2014)

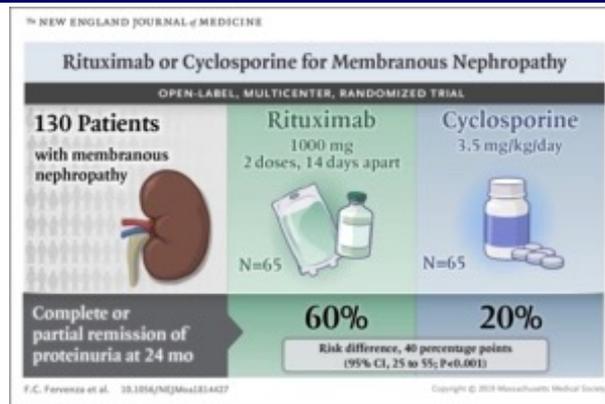


治療抵抗性IgA腎症に対して、
 医師主導治験を開始した。
 (NCT04342325)

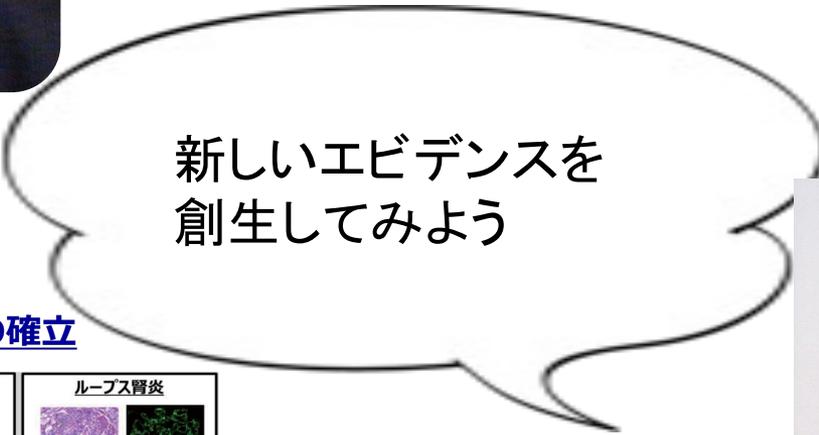
AKI Katsuno (Cell transplant 2012)



臨床研究

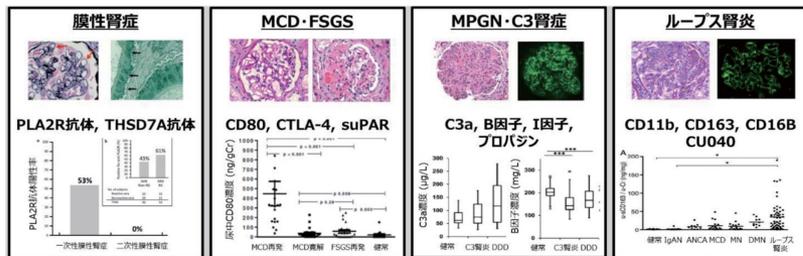


膜性腎症に対する
医師主導治験



新しいエビデンスを
創生してみよう

**AMED研究開発課題名：
ネフローゼ症候群の新規診断法の確立**



これらのバイオマーカーについて、日本の症例で検討する。



将来、新たなバイオマーカーについても研究する。



国外留学



Duke University



Oregon Health & Science Univ.



University of Michigan



Columbia University Medical Center

希望者は海外留学に
チャレンジしてください

University of California Irvine校

現在腎臓内科から5人の若手医師が海外留学中です。

大学院基礎研究コース



大学院臨床研究コース



医員コース



名古屋大学腎臓内科HPにアクセスを

「名大」、「腎臓」、「後期研修医」にてアクセスを

名古屋大学 腎臓内科 HP

NAGOYA UNIVERSITY HOSPITAL
DEPARTMENT OF NEPHROLOGY
名古屋大学大学院医学系研究科
病態内科学講座腎臓内科

HOME ブログ お問い合わせ
患者さんへ 臨床研修のご案内 紹介・専門外来 医局案内 NNFP 研究について

腎臓内科の診療・教育・研究
を通じて社会に貢献します

名古屋大学腎臓内科は、後期研修医募集中です！

NNFP
(教育
プログラム)

研修案内

専攻医募集

臨床研究
その他



松尾先生(前教授、現東海国立大学機構長)を囲んでの？納会

お問い合わせは、
腎臓内科 医局長 加藤規利
Email: n-kato@med.nagoya-u.ac.jp